

平成16年度 再資源化預託金等特別会計 収支予算書(案)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日) (単位:千円)

	科 目	予 算 額
【収入の部】		
預託金預り収入	再資源化等預託金預り収入	154,860,000
	情報管理預託金預り収入	968,000
特定資産運用収入	再資源化預託金等特定資産運用収入	20,000
特定資産取崩収入	再資源化預託金等特定資産取崩収入	2,697,000
当期収入合計		158,545,000
繰越収支差額		—
収入合計		158,545,000
【支出の部】		
預託金払渡支出	再資源化等預託金払渡支出	2,680,000
	情報管理預託金払渡支出	17,000
特定資産組入支出	再資源化預託金等特定資産組入支出	86,356,000
当期支出合計		89,053,000
当期収支差額		69,492,000
次期繰越収支差額		69,492,000

平成16年度 再資源化預託金等特別会計 収支予算書(案) 脚注

1. 再資源化等預託金預り収入

再資源化等預託金とは、ASR(シュレッダーダスト)、エアバッグ類のリサイクルとフロン類の破壊に必要な費用として各自動車製造業者・輸入業者が設定するリサイクル料金について自動車所有者から預託されるものであるが、具体的な料金水準は各自動車製造業者・輸入業者が今後公表することになるため、暫定水準にて計上。預託される自動車数は、新車登録・検査時預託約150万台分、継続検査時等預託約520万台分、引取時預託約100万台分を想定。

2. 情報管理預託金預り収入

情報管理預託金とは、情報管理業務に必要な費用として情報管理センター(情報管理部)が設定する情報管理料金について自動車所有者から預託されるものであるが、具体的な料金水準は、本年7月目途に経済産業・環境大臣に申請して認可を受ける予定であるため、暫定水準にて計上。

預託される自動車数は、新車登録・検査時預託約150万台分、継続検査時等預託約520万台分、引取時預託約100万台分を想定。

3. 収支予算書の変更について

自動車製造業者・輸入業者が公表するリサイクル料金の水準及び情報管理センター(情報管理部)が経済産業・環境大臣の認可を受けて定める情報管理料金の水準を踏まえ、法の本格施行前に収支予算書の変更を行い、経済産業・環境大臣の認可を受ける予定。

【参考】

(1)リサイクル料金等の収受に関する予算計上に当たっての台数前提

	平成17年1月～12月	平成17年1月～3月
①新車新規登録台数	5, 968千台	1, 492千台(3ヶ月分)
②国内廃棄台数	4, 468千台	1, 117千台(3ヶ月分)。ただし、廃棄後、実際に3品目を自動車製造業者等が引き取るまでの時間差があることから、自動車製造業者等へのリサイクル料金の払渡しは1/2ヶ月分の134千台と想定。
③継続検査預託台数	31, 355千台	5, 226千台(2ヶ月分)
④引取時預託台数	4, 100千台 (国内廃棄台数の 90%と 想定)	1, 025千台(3ヶ月分)

(2)3指定法人機能全体に要する費用の指定法人別機能の負担金額(案)

- システム関連費、サポート業務運営委託費、関連事業者向け説明会費用については、3指定法人分まとめたの業務委託等を実施する予定であるが、各指定法人機能への費用の按分については、各々、各指定法人機能別システムの規模、想定されるコール数・業務量等の合理的基準により按分している。

(単位:千円)

勘定科目	資金管理法	指定再資源 化機関	情報管理セン ター	合 計
システム関連費				
・外部ネットワーク費用	53, 550	200	29, 820	83, 570
・システム保守費	59, 430	8, 300	39, 060	106, 790
・ファックスシステム運営費	25, 935	0	5, 565	31, 500
サポート業務運営委託費				
・データセンター運営費	687, 750	2, 700	354, 480	1, 044, 930
・コンタクトセンター運営費	291, 480	33, 800	241, 577	566, 857
理解普及活動費				
・関係事業者向け説明会	65, 520	0	253, 735	319, 255
合 計	1, 183, 665	45, 000	924, 237	2, 152, 902

以上